

我が国の知的生産者選定に係る公共調達システムの創造性を喚起する施策に向けて — 会計法・地方自治法の改正を問う —

開催概要

日時：平成26年9月16日（火）13：15～17：00

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

参加費：無料

主催：日本学術会議

後援（予定）：日本建築学会、土木学会、日本造園学会、日本都市計画学会、こども環境学会、日本建築家協会、
日本不動産学会、都市住宅学会、日本地域学会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、
建設コンサルタンツ協会、都市計画コンサルタント協会、ランドスケープコンサルタンツ協会

開催趣旨

設計、デザイン、芸術的創作等は文化的な生活そのものを豊かにするのみならず、それが環境や製品の付加価値として観光や商業的、あるいは産業的な競争力に寄与している。グローバル化している現代、その設計、デザイン、芸術的創作等創造性を問われる領域は経済的にも極めて重要になりつつある。設計、デザイン、芸術的創作も役務として認識され、物の売買と同様の公共施設の発注—公共調達が、明治22年に制定された会計法により行われてきた。しかし設計、デザイン、芸術的創作や高度な技術を要する知的生産、知的サービスと物の売買と同列に扱うことが極めて不合理になり、それが国の利益を損なう状態になっている。我が国は創造物、知的生産によって環境価値をあげ、世界に寄与しなければならない。そのためにはその活動を阻害する要素を取り除き、創造性を喚起する社会システムを早急に構築し、推進する必要がある。創造立国、知財立国、観光立国を目指す我が国の創造性を喚起する社会システムの確立を議論する。

プログラム

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 開会挨拶 | 仙田 満（東京工業大学名誉教授） |
| 2. 議論の背景 | 小澤紀美子（東京学芸大学名誉教授） |
| 3. 全国アンケートの報告 | 南 一誠（芝浦工業大学教授） |
| 4. 現状の問題と改善の方向 | |
| ・会計法、自治法の仕組みとしての問題と改善のための提案 | 福井 秀夫（政策研究大学院大学教授） |
| ・公共施設の発注システムの我が国の特異性 | 木下 誠也（日本大学教授） |
| ・公共施設発注における設計入札によらない設計者選定の課題と改善 | 仙田 満 |
| 5. 総合討議 | 木下 勇（千葉大学教授） |
| | 司会 矢田 努（愛知産業大学教授） |
| | まとめ |

問合せ先

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
TEL：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260

株式会社 環境デザイン研究所 担当：齋藤ひろみ
〒106-0032 東京都港区六本木 5-12-22
E-mail：HSaito@ms-edi.co.jp TEL：03-5575-7171 FAX：03-5562-9928

